教育相談余話⑩

広報のとりもつ縁〈上〉

南国市教育相談所　高石文一

中学一年の男の子を連れて、タクシーを乗りつけて来たお母さんがある。

『南国市に嫁入りしている妹が、広報で教育相談所のことを知り、ぜひお伺いするようにとの勧めもありましたので……』

高知市のなお西の方から来ている。

『遠いところをよく来てくれました。良い叔母さんがあって、ありがたいですね。』

ところで、先日の電話の申込みでは、学業不振のことでということであったが、学校に対して何か不満を持っているようである。

『今年の六月はよく雨が降り、校舎内ですごすことが多く、廊下でさわぐことも多かったと思います。この子が級友に足をかけられてころんだそうです。うちの子も先頭にたってそんなことをしていると思うのですが、壁に額をあててけがをしました。

養護の先生から電話があり、応急の処置はしておきましたからとのことでした。

それはうちの子がさわいでいたのが悪いと思います。けれど、学校の管理下での出来事ですから、普通なら主任の先生が訪ねてこられて事情を説明するぐらいのことがあってしかるべきものと思います。うちの子が勉強ができないので、これくらいに止めたのでしょうか。勉強のできない子を持つ親は、このようなみじめな思いをしなければならないのでしょうか。』

と言うのである。

『ごもっともです。ところで、話が本筋からはずれるかもしれませんが、そんなにお勉強のできないお子さんのようにも見えませんが。』

『いいです。私も主人も大学をすんでおり、主人は多少社会的地位もあります。そのことをお考えになって、そんなに言ってくださらなくてもよろしいです。そのお心づかいはいりません。』

『そうではないのです。ここは、病院や大学のように検査する機械も薬もありません。機械のすることを人間がするのです。この目でお子さんの反応を見ていくよりほかにありません。どうしても勉強のできないお子さんのように思えないのです。なぜ、そのように言われるのですか。』

『実は、この子が小学五年の時、私の母が学校によばれました。校長先生がおっしゃるには、この子どもさんは普通の学級において学習させるのは無理、特別の学級におくのが本人のためと思う。ご家庭でもよく相談してくださいとのことでした。

決めかねて返事もできずにいますと、今度は両親がよばれました。校長先生が、一年生からのテスト全部の点数をぎっしり書き込んだ表を示され、これでは成人してもの普通の仕事はできますまいとのこと。私たちは何も言えず帰ってきました。どうとも返事ができず、そのうち中学校に入った訳です。』

『よく言ってくれました。小学校の校長先生は、子どもを見ずに担任から出された成績表を見て言っておられます。数字にして出せば、いかにも科学的のように見えますが、子どもを見ずに担任から出された成績表を見て言うのと、子どもそのものを見て言うのとどちらが科学的でしょうか。今まで一度も勉強したことのない子どもの成績表など、あてにならないのです。

このお子さんは、私の見るところ決して頭の悪い子ではありません。ただ、しいて言えば〝ごくどう〟ということです。今まで一度も勉強する気でしたことはないのでしょう。どうも、このお子さんが二歳か三歳頃、おばあさんに預けてお母さんは勤めに出られたのではありませんか。』

『そうでした。臨時の勤めでしたけれど、二年半ぐらい。』

『おそらく、貴重な一人っ子のこと、おばあさんが付きっきりで何でもしてやって、自分で考え自分ですることは何もなかった。自分が何もしなくても他人がしてくれる。ただひたすら待っておりさえすれば、すべてが順調にはこんでいくことを、体験を通して学んでしまったのです。そうされると、だれでもこうなるよりほかないのです。むしろ、反応が正常であればこそこうなります。なるべくしてなったともいえます。』

『今になって、何とかする方法はないものでしょうか。』

『お母さんが本気でこのお子さんのためにやってやろうというのなら、道はあります。

私がかつて四年勤めたある中学校の卒業式で、卒業生を代表して答辞を読んだ四名のうち、二名は一年に入学した時からそれはもうすべてととのった生徒でした。ところが、後の二名は入学した頃は全校一のあばれ者、家をぬけ出してお堂で泊まったり、友達とはけんかするし、先生には反抗するので職員会のたびに、校長はあの生徒をなぜそれほどかばうのか、なぜ特別施設に送るようにしないのか、と教頭さんまでいっしょになって詰められるような生徒でしたが、私はそのたびごとに、すまんがもう少し待ってもらいたいと謝ってきたものです。

それが、ふとしたきっかけがあり一年生の二学期からがらりと変わりました。今まで一度も勉強らしいことをしたこともない子どもが、本気になってやりだせばすごいものです。

まだ、一年生の一学期です。できます。ただ、お母さんがなりふりかまわずやってくれればの話ですが。』

『お話をお聞きして、母親として子どもにほんとうにすまなかったと思います。どうすればいいのでしょうか。』

『三歳頃までさかのぼってやり直していくことです。お母さんの胸にいだかれてお乳をのんでいた赤ん坊が、やがて自分で手をのばしてあたりのものをあれこれさわってみる。これがお勉強の原型です。大きくなってもこの自発性の原理には変わりありません。

小学校の子どもさんなら、お母さんが抱いてお乳をのますところからやり直すところですが、もう中学生です。自分でできることをお母さんが手伝ってあげてはいけません。どんなに髪がのびても、本人が気持が悪い散髪に行きたいと言うまで放っておくことです。朝、シャツはこれ下着はこれと言って出してはいけません。気持が悪くなれば洗濯してと言って出してきます。たんすを探して、自分で着ていきます。おなかがへったと言うまでおやつを出してはいけません。腹がへれば自分で冷蔵庫や戸だなを探して何でも食べます。

学校にも連絡しておきます。宿題をしてこなかったら容赦しないこと。特別扱いはしないこと。できないはずはないのに、今まで見逃されてきたのです。

こんな子は、掃除の時間になると決められた自分の区域におらず、次から次へと別のグループのところに移動していく。掃除が終わる頃に自分のグループのところにもどっている。こんなことをしているはずです。』

『まあ、ほんとうにそうです。まるで先生はこの子をずっと見てこられたようなこと……。何だか気がせいせいしましたし。やってみます。』

（次号へ続く）

農協訪問駅伝に30チーム

10区間、53キロのコースで熱戦

『第十八回農協訪問駅伝競走大会』は、前夜の雨も上がりまずまずのコンディションとなった二月一日、市内各農協を巡る十区間五十三キロのコースに三十チーム（中学十、高校六、一般十四）が参加して行われました。結果は次のとおりです。（▲印は大会新記録）

◪中学の部（参加十チーム）

①香長A＝▲3時間31秒 ②北陵A＝3時間3分31秒 ③希望ケ丘A＝3時間5分40秒 ④香長B＝3時間8分2秒 ⑤香長D＝3時間10分25秒 ⑥香長C＝3時間14分12秒 ⑦北陵B＝3時間15分12秒 ⑧希望ケ丘B＝3時間18分36秒 ⑨高ケ池A＝3時間27分4秒 ⑩高ケ池B＝3時間32分30秒

区間賞・一区（4・5キロ）＝南洋（香長A）▲14分34秒 二区（4・9キロ）＝高島正（同）▲16分49秒 三区（5・6キロ）＝西森寛（同）18分38秒 四区（5・3キロ）＝松木忠史（同）18分24秒 五区（4・2キロ）＝関田康人（同）▲14分8秒 六区（6・8キロ）＝中山篤志（希望ケ丘A）23分14秒 七区（6・1キロ）＝森田章夫（北陵A）20分33秒 八区（4・8キロ）＝永吉弘武（香長A）▲16分58秒 九区（6・5キロ）＝高田和男（同）▲20分23秒 十区（4・3キロ）＝淡中渉（同）14分54秒

◪高校の部（参加六チーム）

①高知農B＝2時間51分25秒 ②高知農A＝2時間51分27秒 ③工専陸上部＝2時間59分48秒 ④東工野球部＝3時間12分57秒 ⑤工専バレーボール部＝3時間29分17秒 ⑥工専水泳部＝3時間45分36秒

区間賞・一区＝竹崎正裕（高知農B）14分32秒 二区＝塩田雅彦（同）15分44秒 三区＝尾崎繁和（同A）17分54秒 四区＝和食正彦（工専陸上部）17分33秒 五区＝堀内一彦（高知農A）13分13秒 六区＝野間浩二（同）20分54秒 七区＝西内正（同）19分2秒 八区＝西川広（同B）15分37秒 九区＝下村敬一（同A）20分9秒 十区＝堀誠也（同B）▲13分51秒

◪一般の部（参加十四チーム）

①大篠支所A＝3時間1分10秒 ②瓶岩体育会＝3時間9分29秒 ③三和農協A＝3時間9分56秒 ④十市農協＝3時間10分5秒 ⑤警察学校A＝3時間11分2秒 ⑥奈路体育会＝3時間16分53秒 ⑦前浜＝3時間17分3秒 ⑧セイレイ工業＝3時間18分51秒 ⑨南国市役所＝3時間20分48秒 ⑩大篠支所B＝3時間22分31秒 ⑪機動隊＝3時間24分18秒 ⑫警察学校B＝3時間29分27秒 ⑬三和農協B＝3時間37分34秒 ⑭高知ヤンマー＝3時間56分26秒

区間賞・一区＝森田豊明（大篠支所A）14分41秒 二区＝小川真人（同）17分37秒 三区＝浜田剛（同）17分54秒 四区＝岡崎邦矩（瓶岩体育会）18分2秒 五区＝松木敬二（大篠支所A）15分23秒 六区＝博田利彦（同）21分52秒 七区＝朝比奈正敏（警察学校A）20分44秒 八区＝森岡洋二（大篠支所A）17分56秒 九区＝田中誠一（同）21分37秒 十区＝西岡照夫（同）▲14分52秒

第三回松木杯卓球大会

第三回南国市松木杯卓球大会は一月十一日、八十人が参加して市民体育館で開かれました。

【団体戦】

■中学男子の部

①香南A②香南B③高ケ池

■一般・高校男子の部

①高知工専②高知工専A③野市クラブ

■女子の部

①香長中A②後免野田クラブ③三和クラブ

【個人戦】

■中学男子の部

①小田博茂（香南）②久保昌弘（香南）③能勢幸生（香南）

■高校男子の部

①谷脇正（高知工専）②久松勲（高知工専）③森沢正志（高知工専）

■一般男子＝一部

①岡田稔輝（高知工専）②鍵山仁志（南国クラブ）③黒瀬隆彦（野市クラブ）

■一般男子＝二部

①永吉武秋（卓球連盟）②春田卓志（卓球連盟）③門田高明（後免町）

■中学女子の部

①藤平尚子（香長A）②高野瑞乃（香長A）③岡智恵（香長A）

■一般女子の部

①井上智世（南国クラブ）②浜田満（三和クラブ）③浜田万智（久礼田）